



岡田 康司

防災・災害

(消防団再編・河川の雑草、樹木)

消防団再編

問 消防団が再編され、

地区との関係性が変化するが、行政としての考えを問う。

答 再編案の最終取りまとめが行われている。

再編後の活動は分団単位の活動となる。12月区長会において、内容等説明を行う予定である。

問 地区が管理している

消火栓ボックスの中のホースが経年劣化しているが、行政として何か対応できないか問う。

答 まずは、協働事業交付金を活用して修繕をお願いしたいと考える。

問 消防団再編委員会の取りまとめが、町に提出されると思うが、再編に

伴う行政のスケジュール

について問う。

答 条例等が可決されたら広報等でお知らせをする。分団単位の車庫等は個別に協議している。

費用負担等は消防団の方からも再編に伴う要望等を踏まえて検討をしていると聞きたいと考える。

河川の雑草、樹木

問 河川の雑草、樹木が

茂っている中、雨量が多い時に、河川の近隣住民の方は氾濫などを危惧されていると思うが、町の管轄する河川管理について問う。

答 町管理の河川等につ

いては、現地確認を行った上で必要に応じて雑草、樹木の除去等の対応をおこ

なっている。

問 町の管轄でない河川

についても、住民の声はまず町に届くと思うが、町として大阪府へ働きかけをしているのか問う。

答 府管理の河川等は河川管理者が点検、確認の上、対応していると聞いている。



一般質問



井上 加奈子

空き家対策と、これからの移住施策

問 空き家対策のビジョンを問う。

答 能勢町の物件に新たな価値や特殊な価値を見出し、移住を希望する人がいる。そのような移住希望者と空き家を結びつけるため、不動産業者ではなく、町がコーディネーターの役割を担い、有効活用できる家は活用しようという方向に、住民の意向を導くような施策をしたい。

問 「能勢町空き家等対策計画」の見直しについて問う。

答 現行計画（平成30年2月策定）は、地域住民の生命・財産の保護と、生活環境の保全、空き家の利活用促進を目的としているが、所有者の意

向が不明なため施策が立てられず、利活用については弱い計画である。今年度、実態把握調査を実施し、空き家の把握、状態確認、所有者への聞き取りを通じて、計画を見直す。

問 空き家の実態把握調査の方法と目的を問う。

答 現在、水道メーターと外観調査に基づき、約800件を空き家として調査を行っている。今後、所有者へアンケート調査を実施し、使用実態、管理状況、今後の意向調査をする。

問 現在は居住しているが、近い将来には空き家の調査が必要ではないか。

答 個人財産の引き継ぎは高齢者の終活に関わる問題であり、空き家対策におけるアンケート調査では難しい。

問 移住相談窓口について、新たな体制の構築が必要ではないか。

答 物件の売買調整は難しく、業者の利益が少ないため、総務部にコーディネートや定住支援員という形で調整役を設置したい。

今後、所有者へアンケート調査を実施し、使用実態、管理状況、今後の意向調査をする。

現在、水道メーターと外観調査に基づき、約800件を空き家として調査を行っている。

